

2021年度 第3回長崎県がん診療連携拠点病院研修会

アンケート調査結果

【開催日】 2022年2月7日（月）

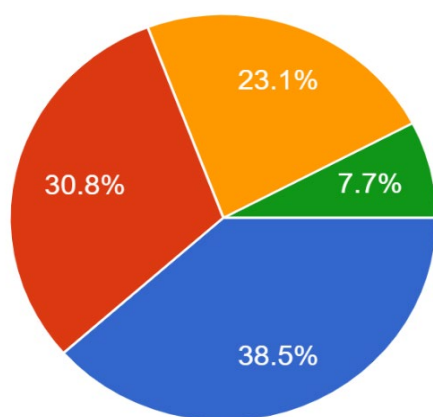
【時間】 18:30～19:45

【形式】 Web講演

【出席者】 64名

【回答者】 13名

※回答者割合は下記グラフのとおり



- ①医師
- ②看護師
- ③薬剤師
- ④診療放射線技師
- ⑤医療ソーシャルワーカー
- ⑥事務職員

【出席者 内訳】

施設名 職 種	大学	みなと	佐世保市 総合	諫早 総合	原爆	佐世保 中央	島原	長崎 医療	他施設	合計
医師・歯科医師	11	1	2	1	1	0	0	1	4	21
薬剤師	1	0	0	1	1	0	0	0	9	12
看護師	13	1	0	1	0	0	0	1	0	16
放射線技師	3	0	1	3	0	2	0	0	0	9
MSW	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3
事務職員	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3
その他・不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	33	2	4	6	2	2	0	2	13	64

【今回の講演について】

①よかったところ

- ・外部講師による講義で新鮮だった（看護師）
- ・最新の前立腺癌の治療の実態が理解できたこと（薬剤師）
- ・前立腺寡分割照射（薬剤師）
- ・様々な前立腺治療に関する治療効果がどの程度あるのかをデータとして見れて勉強になった（診療放射線技師）
- ・重粒子線療法について、今まで懐疑的に思っていたのですが、放射線療法と同等のエビデンスがあると知ったこと。寡分割照射という通院日数が短くすむ新しい放射線療法があると知ったこと（薬剤師）
- ・わかりやすかった（看護師）
- ・エビデンスに基づいた知見を、数多く示していただいた（医師）
- ・多くのエビデンスを紹介していただいた（看護師）
- ・前立腺癌の最新の放射線治療を教えてもらったこと（医師）
- ・前立腺癌についてそれぞれのstudyの処方線量の規定の違いなども含め、細かく説明していただいたこと（医師）
- ・エビデンスの解釈がむずかしい点を、独自の切り口で解説していただき、勉強になった（医師）
- ・前立腺がんへ対する放射線治療に関する知見の整理ができた（医師）

②気になったところ

- ・自分が無知でほとんど内容がわからなかったため残念ながら気になったところはない（看護師）
- ・放射線治療の選択肢が意外に多いところ（薬剤師）
- ・全身DWIBS検査（看護師）
- ・寡分割照射（診療放射線技師）
- ・新しいホルモン療法についてももう少し聞きたかった（薬剤師）
- ・時間が少し長かった（看護師）
- ・放射線治療医以外には難しい内容だった（医師）
- ・おそらく処方線量の用語などは放射線治療を専門としない先生にはわからなかったであろうこと（医師）
- ・放射線治療の将来展望や日本人のエビデンスの違いなど（医師）
- ・Ultra-hypofractionationのデータが少なかった（医師）

③講演に関する要望

- ・具体的な放射線治療を中心とする前立腺癌の治療について具体的に理解できました。ありがとうございました（薬剤師）
- ・また講演をお願いしたいと思う（医師）
- ・ウェブ開催は、現地に行かなくて良いので、遠くにいるものには、助かる（医師）
- ・もう少し質疑応答の時間が欲しい（医師）
- ・ありがとうございました（医師）

◆**次回の講演で希望すること（内容、場所、日時など）**

- ・ 19:30以降、せめて19時以降の開催を希望する（薬剤師）
- ・ 今回と同じくらい（薬剤師）
- ・ ズームをお願いします（看護師）
- ・ 乳腺領域の治療について（診療放射線技師）
- ・ ハイブリッド形式でお願いしたい（医師）
- ・ 次回は、光免疫療法についての講演を希望する（医師）
- ・ 可能であれば対面で（医師）

◆**がん診療センターに対するご要望をご記入ください**

- ・ 機会があれば次回以降もできるだけ参加していきたいと思う（薬剤師）
- ・ いつもありがとうございます、大変勉強になります（看護師）
- ・ いつもありがとうございます（医師）
- ・ 今後とも宜しく願いいたします（看護師）
- ・ 益々のご発展を祈念します（医師）
- ・ ありがとうございました（医師）